



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ  
 コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 溝口 健二 (TEL) 03-3820-1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (録画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,952	△6.3	1,588	△17.4	1,462	△12.7	805	△26.4
2020年3月期第2四半期	27,693	1.1	1,923	△42.6	1,674	△47.5	1,094	△39.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 651百万円(△59.4%) 2020年3月期第2四半期 1,605百万円(△47.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	78.03	—
2020年3月期第2四半期	103.50	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	106,714	41,054	36.1	3,731.39
2020年3月期	109,675	40,943	35.0	3,722.17

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 38,522百万円 2020年3月期 38,428百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△8.7	3,000	△8.7	2,820	△4.1	1,680	△8.0	162.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	11,344,181株	2020年3月期	11,344,181株
2021年3月期2Q	1,020,208株	2020年3月期	1,020,050株
2021年3月期2Q	10,324,082株	2020年3月期2Q	10,574,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は2020年11月24日(火)に録画配信での決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う内外需要の急激な減少により大きく影響をうけることとなりました。官民での感染症対策の実施により緊急事態宣言解除後は一部に持ち直しの動きもみられましたが、回復のペースは緩やかで、感染症の収束時期が見通せず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループの経営成績は、新型コロナウイルス流行により物流部門での国際物流の取扱いの減少や食品部門での外食向け業務用米販売の落ち込み等の影響も受けて前年同期を下回ることとなりましたが、物流部門での国内物流への影響は限定的であったこと、また食品部門での量販店向け販売が堅調に推移したこと等により業績予想を上回ることとなりました。

この結果、売上高は259億52百万円（前年同期比6.3%減）となり、営業利益は15億88百万円（同17.4%減）となりました。経常利益は前年度に計上した不動産開発に伴う資金調達費用の剥落がありましたが14億62百万円（同12.7%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、不動産再開発に備えた不稼働物件の取り壊しに伴う減損損失の計上等もあり8億5百万円（同26.4%減）となりました。

## ②セグメント別の概況

## 〈物流部門〉

物流部門では、新型コロナウイルス流行の影響による国際間の移動制限や国際物流の停滞等の発生により、海外引越や港運通関等の国際業務は大幅な減収となりました。一方で、国内業務においては、業務用飲料等の荷動きが落ち込みましたが、前年度下期に新設した営業拠点の本格稼働もあり、保管料・荷役料は増収となりました。この結果、売上高は109億49百万円（前年同期比0.7%減）とほぼ横ばいにとどまりました。営業利益は国際業務の減収に加えて、新設営業拠点の費用増加、更には物流不動産の顧客入れ替え等もあり、11億6百万円（同19.2%減）となりました。

## 〈食品部門〉

食品部門では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施した外食業界での営業自粛や在宅勤務の推進等により外食や給食事業者向け販売が落ち込み、量販・外食向けである精米販売は35千玄米トン（前年同期比6.0%減）となりました。一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売も外食向け業務用米を中心に需要が低迷し、8千玄米トン（同33.1%減）となりました。この結果、売上高は販売数量の減少により125億89百万円（前年同期比11.8%減）となり、営業利益は2億41百万円（同15.2%減）となりました。

## 〈情報部門〉

情報部門では、昨年度実施した改元や消費税増税対応といった一過性の開発案件がなく、更には、新型コロナウイルス流行の影響により、棚卸用レンタル機器のユーザーである一部顧客において棚卸が延期や中止となったこともあり、売上高は8億12百万円（前年同期比7.4%減）となり、営業利益は12百万円（同75.9%減）となりました。

## 〈不動産部門〉

不動産部門では、KABUTO ONEやヤマタネ五反野ビル等の開発案件が進行中ではありますが、4月にヤマタネ藤沢ビルが開業したこと等により、売上高は16億1百万円（前年同期比5.3%増）となり、営業利益は6億66百万円（同0.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

資産合計は、不動産部門における再開発計画の進捗等により有形固定資産は増加しましたが、設備投資資金等の支払により現金及び預金が減少いたしました。また、受取手形及び売掛金の減少や食品部門でのたな卸資産の減少等もあったことから、前連結会計年度末比29億61百万円減少し、1,067億14百万円となりました。

## ②負債

負債合計は、コメ仕入資金の支払等による営業未払金の減少や有利子負債の減少等から、前連結会計年度末比30億72百万円減少し、656億59百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払による利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったこと等から、前連結会計年度末比1億11百万円増加し、410億54百万円となりました。

この結果、自己資本比率は36.1%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日（2020年11月6日）公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ、ならびに2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において記載のとおり、当第2四半期累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス流行により物流部門での国際物流の取扱いの減少や食品部門での外食向け業務用米販売の落ち込み等の影響はありましたが、物流部門での国内物流への影響は限定的であったこと、また食品部門での量販店向け販売が堅調に推移したこと等により業績予想を上回る結果となりました。

2020年5月22日に公表いたしました通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス流行による経済活動への影響が当第2四半期末まで続き、その後収束に向かうとの前提に立って策定しておりましたが、当第2四半期会計期間において新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、外部の情報等を踏まえ、当連結会計年度期間中は経済活動への影響が継続するとの前提のもとに、当第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえて通期連結業績予想を修正することといたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,894	8,246
受取手形及び売掛金	6,865	5,898
たな卸資産	1,995	999
その他	2,306	1,872
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,061	17,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,039	14,508
土地	50,418	50,418
その他(純額)	8,667	10,622
有形固定資産合計	74,124	75,549
無形固定資産		
投資その他の資産	1,028	1,016
投資有価証券	11,834	11,518
その他	1,482	1,499
貸倒引当金	△97	△97
投資その他の資産合計	13,219	12,920
固定資産合計	88,372	89,487
繰延資産	241	209
資産合計	109,675	106,714
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,399	2,075
短期借入金	6,605	6,018
1年内返済予定の長期借入金	4,200	2,879
1年内償還予定の社債	1,775	1,053
その他	2,532	2,771
流動負債合計	18,514	14,797
固定負債		
社債	18,419	17,892
長期借入金	18,210	19,577
環境対策引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,685	1,663
資産除去債務	2,047	2,046
その他	9,851	9,679
固定負債合計	50,216	50,861
負債合計	68,731	65,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,747	3,747
利益剰余金	19,815	20,104
自己株式	△2,233	△2,233
株主資本合計	31,885	32,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,700	3,503
土地再評価差額金	2,872	2,872
退職給付に係る調整累計額	△30	△28
その他の包括利益累計額合計	6,542	6,348
非支配株主持分	2,515	2,532
純資産合計	40,943	41,054
負債純資産合計	109,675	106,714

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益	27,693	25,952
営業原価	24,002	22,568
営業総利益	3,691	3,384
販売費及び一般管理費	1,768	1,795
営業利益	1,923	1,588
営業外収益		
受取配当金	153	160
その他	8	17
営業外収益合計	162	178
営業外費用		
支払利息	283	271
シンジケートローン手数料	93	0
その他	35	32
営業外費用合計	411	304
経常利益	1,674	1,462
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	84	-
その他	0	-
特別利益合計	85	0
特別損失		
固定資産除却損	12	3
減損損失	-	90
特別損失合計	12	94
税金等調整前四半期純利益	1,747	1,369
法人税等	594	496
四半期純利益	1,153	872
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,094	805



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,153	872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	447	△222
退職給付に係る調整額	4	2
その他の包括利益合計	452	△220
四半期包括利益	1,605	651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517	611
非支配株主に係る四半期包括利益	87	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当社グループは、前連結会計年度においては新型コロナウイルス流行による経済活動への影響は当連結会計年度の第2四半期末まで続き、その後収束に向かうとの前提に立って、会計上の見積りを行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、外部の情報等を踏まえて当連結会計年度期間中は経済活動への影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	11,024	14,270	878	1,520	27,693	—	27,693
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	205	—	137	18	361	△361	—
計	11,229	14,270	1,015	1,539	28,055	△361	27,693
セグメント利益	1,369	285	50	660	2,365	△442	1,923

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△447百万円及び未実現利益調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	10,949	12,589	812	1,601	25,952	—	25,952
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	199	0	137	44	381	△381	—
計	11,148	12,589	950	1,645	26,334	△381	25,952
セグメント利益	1,106	241	12	666	2,027	△438	1,588

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△445百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。